

講演

中世王権と  
呪術の世界

〜愛と怒りのほとけ  
「愛染明王」をめぐる〜

小川 豊生

摂南大学  
外国語学部 教授

日本中世の

# 呪術と まじない

講演

安倍晴明  
伝承の展開と  
陰陽道の呪術

赤澤 春彦

摂南大学  
外国語学部 准教授

日時

2018年10月14日(日)

13:00~16:00 (受付12:30~)

会場

大阪工業大学 梅田キャンパス

203・204セミナー室 大阪市北区茶屋町1-45

定員

150名

参加  
無料

事前申込制  
(申込多数の場合は抽選)

- JR「大阪」駅から徒歩5分
- 阪急「梅田」駅から徒歩3分
- 御堂筋線「梅田」駅から徒歩5分

お申し込み  
お問い合わせ先

ハガキ：〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8  
摂南大学外国語学部事務室  
「国際教養セミナー」係まで

E-mail: SETSUNAN.Lbu@josho.ac.jp  
F A X: 072 (838) 6607 電 話: 072 (839) 9195

日本中世の

# 呪術とまじない



## 2018年度 摂南大学国際教養セミナー

日本の人々は古来より山、川、森、磐、動物など自然を崇拜し、信仰してきました。6世紀以降、仏教や陰陽五行説が大陸や朝鮮半島から伝わり、さらに神祇信仰が整備されるにつれ、日本の信仰は多様な展開をみせるようになります。大きな天変地異が国を襲った時、神社や寺院では盛大な祈禱が催され、攘災を祈りました。また、人々は自らの寿福や安穩を祈り、時には相手の災厄を呪う調伏を行わせました。このように日本の前近代では宗教や思想に基づく呪術は身近なものでした。今回のセミナーでは日本の中世を舞台に躍動した密教と陰陽道を取り上げて呪術の世界をご紹介します。

日本史の大きな転換点である南北朝から室町時代にかけて、後醍醐天皇やその近臣・文観房弘真たちが、歴史的命運をかけて実修した呪術—愛染明王をめぐる修法—の実態を、有名な天皇肖像の読み替えを中心に明らかにします。愛と死のほとけ〈愛染〉をめぐる信仰がもちつづけた中世における思いのほか、大きな力を現代に蘇らせる試みとしたいと思います。

中世王権と呪術の世界  
「愛と怒りのほとけ」  
「愛染明王」をめぐる



小川豊生

摂南大学  
外国語学部 教授

講演

安倍晴明  
伝承の展開と  
陰陽道の呪術

陰陽道といえば、平安時代の安倍晴明が有名ですが、実は本当の隆盛期は中世の時代にありました。陰陽道は平安時代に賀茂氏と安倍氏によって基盤が整えられた後、院政期から鎌倉期にかけて大きく広がりを見せていきます。今回は安倍晴明の死後150年以降、晴明の伝承がどのように形作られてゆくの、またこうした晴明の伝承が陰陽道の呪術の展開にどのような影響を与えたのかについて考えてみたいと思います。

赤澤春彦

摂南大学  
外国語学部 准教授



日時 2018年10月14日(日) 13:00~16:00 (受付12:30~)

会場 大阪工業大学  
梅田キャンパス  
203・204セミナー室  
大阪市北区茶屋町1-45

定員 150名 参加無料 事前申込制 (申込多数の場合は抽選)

右の申込用紙に、必要事項を記入して、郵便かファックスでお申し込みください。下記メールアドレスからでも申込可能です。

お申し込み・お問い合わせ先

摂南大学外国語学部事務室 「国際教養セミナー」係 まで  
〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8  
FAX : 072 (838) 6607  
E-mail : SETSUNAN.Lbu@joshu.ac.jp  
TEL : 072 (839) 9195

参加申し込み後、特に連絡がない場合は、直接会場にお越し下さい。(参加証は送付しません)



※お申し込み時にご記入いただいた個人情報は、主催者(摂南大学外国語学部)が保管し、利用状況統計基礎データ及び今後のイベントのお知らせ等に利用させていただく場合があります。

※当日キャンセルはご遠慮願います。資料の準備がありますので、ご都合で参加できない場合はお早めにご連絡ください。

※このセミナーは、午前11時の時点で「暴風警報」が発令されている場合は、中止とさせていただきます。



- JR「大阪」駅から徒歩5分
- 阪急「梅田」駅から徒歩3分
- 御堂筋線「梅田」駅から徒歩5分

Googleマップ

申込用紙

FAX: 072 (838) 6607

2018年度  
摂南大学国際教養セミナー

ふりがな		年齢	
氏名		歳	
住所	〒	-	
電話	( )	-	

※ハガキで申し込まれる方は、この用紙をハガキに貼ってご利用ください